

2026/03



Gemini Enterprise

目次

01

AI活用について

02

Gemini Enterpriseについて

03

費用&導入ステップ

03

Q&A



AI活用について



AIに 業務を任せる 時代へ

生成AIの普及により、私たちはAIと共に業務を遂行する時代を迎えている。そして現在、さらなる進化のフェーズとして、自律的に業務をこなす「AIエージェント」への移行が本格的に始まっている。



2025年

人間が指示→AIが回答



2026年以降

人間がゴール設定→AIが自律的に計画・実行

AIエージェント活用の課題

現場業務との乖離

AIエージェントを開発したものの、現場の業務実態に即しておらず定着しない。

社内データの活用

AIが参照すべき社内データが複数のツールに散在しており、精度の高い有効な回答を引き出せない。

セキュリティ対策

機密情報を含む社内データをどこまでAIに読み込ませてよいか判断できず、結果として表面的な活用に留まっている。



Gemini Enterprise

複数ツールの横断的なデータ連携と堅牢なガバナンスを両立し、
全社レベルの「AI活用」を実現する

Gemini Enterprise とは



Gemini Enterpriseとは

オールインワンパッケージとなっており、高精度のAI機能を

Googleサービス導入企業からMicrosoftサービス導入企業まで横断的に利用可能

The Brains

Google提供の Geminiを活用可能

The Workbench

従業員が独自で AIエージェントを構築可能

The Taskforce

Googleが提供するAIエージェント (NotebookLM、Deep Research) やパートナーが構築した AIエージェントを活用可能

コンテキスト

あらゆる場所に存在する社内システムとデータを繋ぐ



その他接続先多数.....



ガバナンス：全てのエージェントを視覚的に、そしてお客様のデータを学習しない。

Gemini Enterpriseが 選ばれる3つの理由

01 エージェント構築の容易さ

ノーコード開発機能により、IT知識がなくてもAIエージェントを直感的に構築可能。スピーディーな業務適用と業務に即したAI活用により、社内DXを加速させる。

02 データ横断によるエコシステムの活用

既存ツールや外部サービスと柔軟に連携できるため、社内に散財するデータを横断的に参照し、精度の高い有効的な回答を生成する。

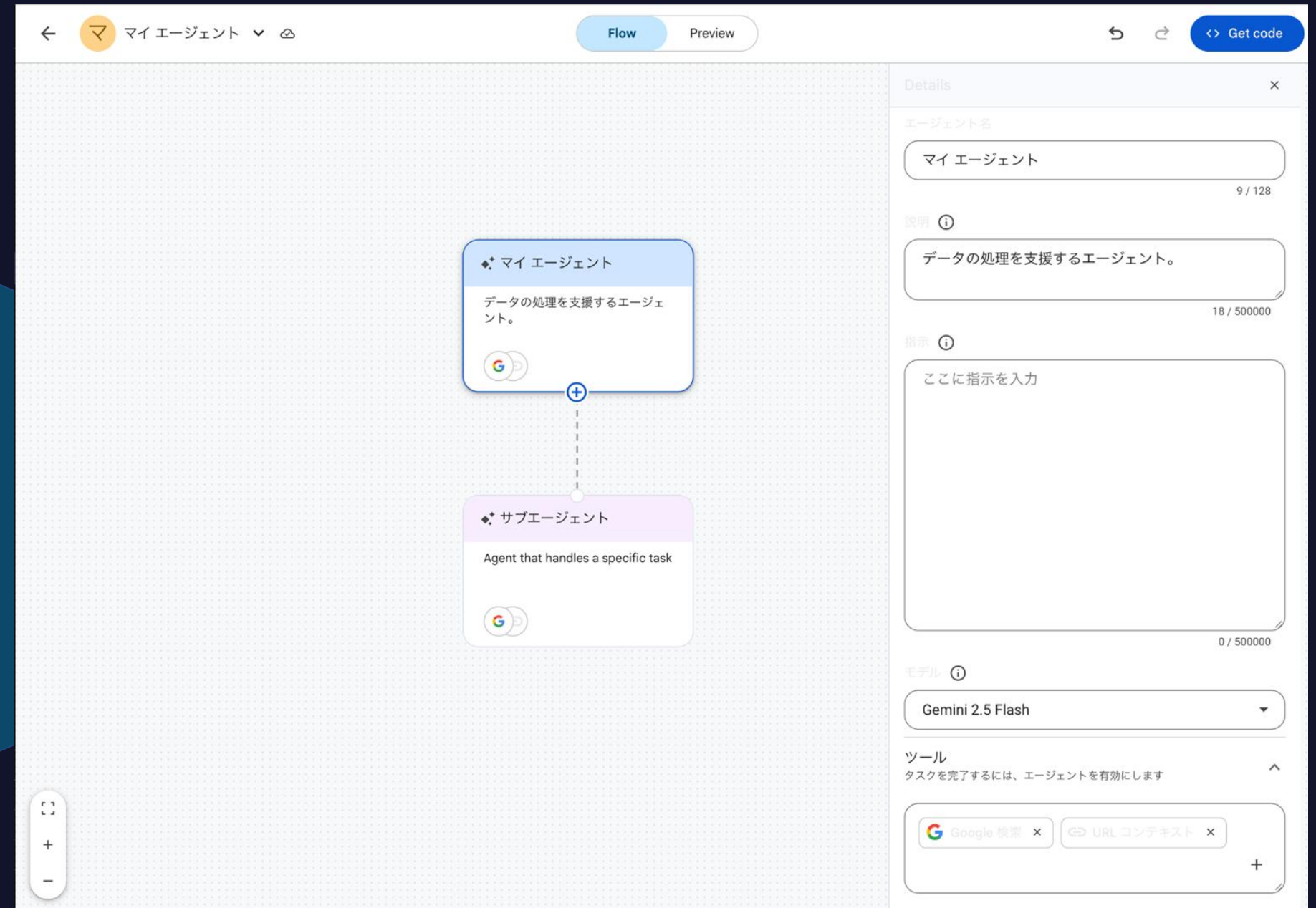
03 強固なセキュリティとガバナンス

認証およびアクセス権限の細かな制御や情報漏洩対策が標準機能として提供され、入力データがAIの学習に利用されることはない。



主要機能 1 | ノーコードAIエージェント開発

ノーコードでのAIエージェント開発機能
 プログラミング知識不要で、特定の業務フローに特化したAIエージェント（提案書作成アシスタント、社内ヘルプデスク等）を直感的に構築可能。

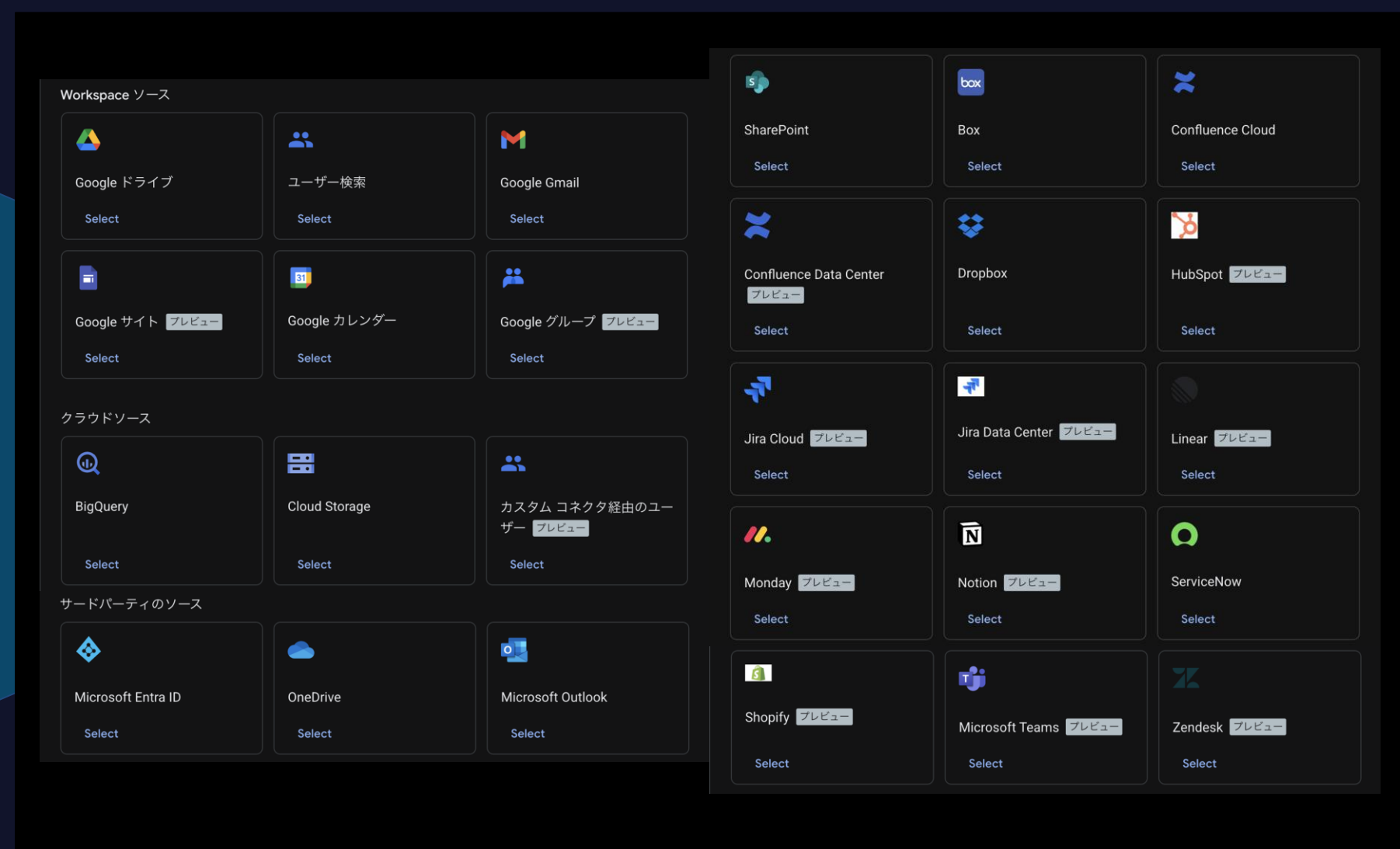


例) エージェント作成画面

主要機能 2 | エンタープライズデータの連携

エンタープライズデータの連携

Google Workspace関連のサービスに加えて、SalesforceやShopifyなどの外部システムとAPI連携することで、常に最新の社内データを基にした回答やアクションの実行が可能。



例) 連携可能サービス

主要機能3 | セキュリティとガバナンス

セキュリティとガバナンス

ユーザーごとのアクセス権限管理、データ保護（DLP連携）、を提供し、シャドーAIを防ぐことで、安全な全社展開が可能。



セキュリティとガバナンス

信頼性を重視して設計されたプラットフォームにより、企業全体でエージェントの導入を安心して拡大できます。

- 組み込みのセキュリティ対策でセキュリティとプライバシーのニーズに対応
- 単一のプラットフォームから、すべてのエージェント、権限、ポリシーを一元的に可視化して制御
- 悪意のある安全でないインタラクションを Model Armor でプロアクティブにスクリーニング
- VPC-SC、顧客管理の暗号鍵、アクセスの透明性、データ所在地*などの高度な機能を使用して、データアクセスとデータ主権をきめ細かく管理
- HIPAA や FedRAMP High* などのワークロードをサポートすることで、厳格なコンプライアンス要件に対応

* Gemini Enterprise の Standard エディションと Plus エディションでご利用いただけます。



例) Gemini Enterpriseセキュリティ概要

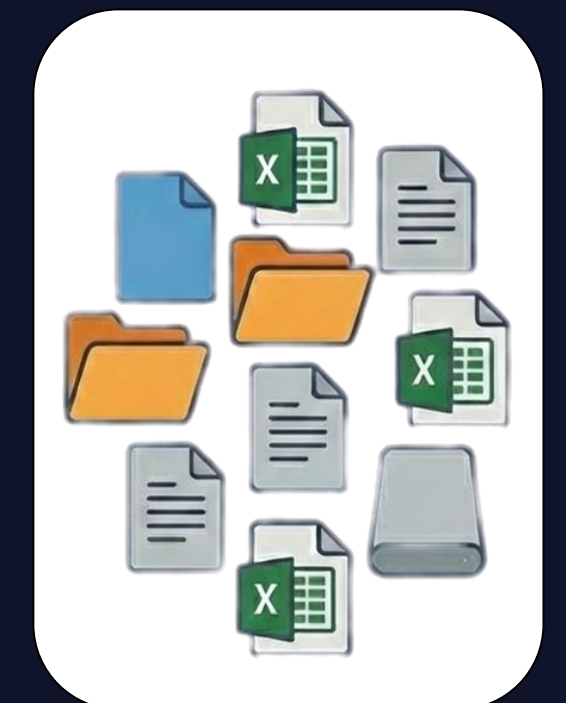
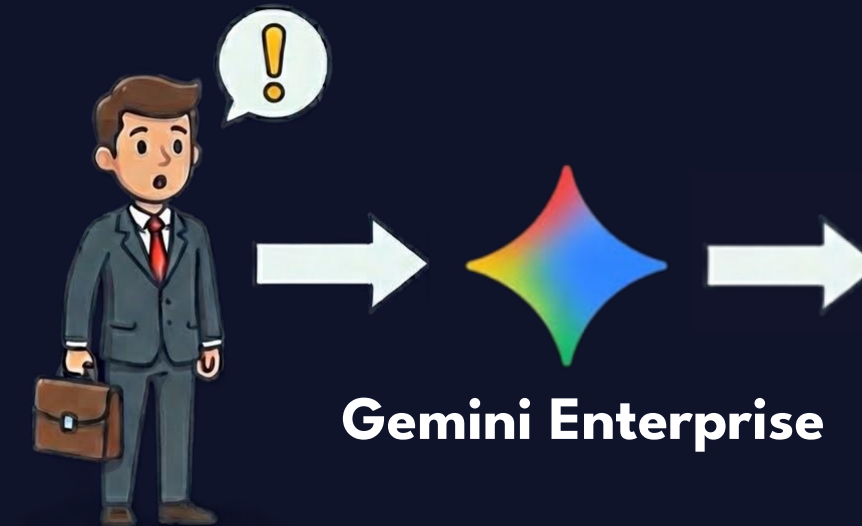
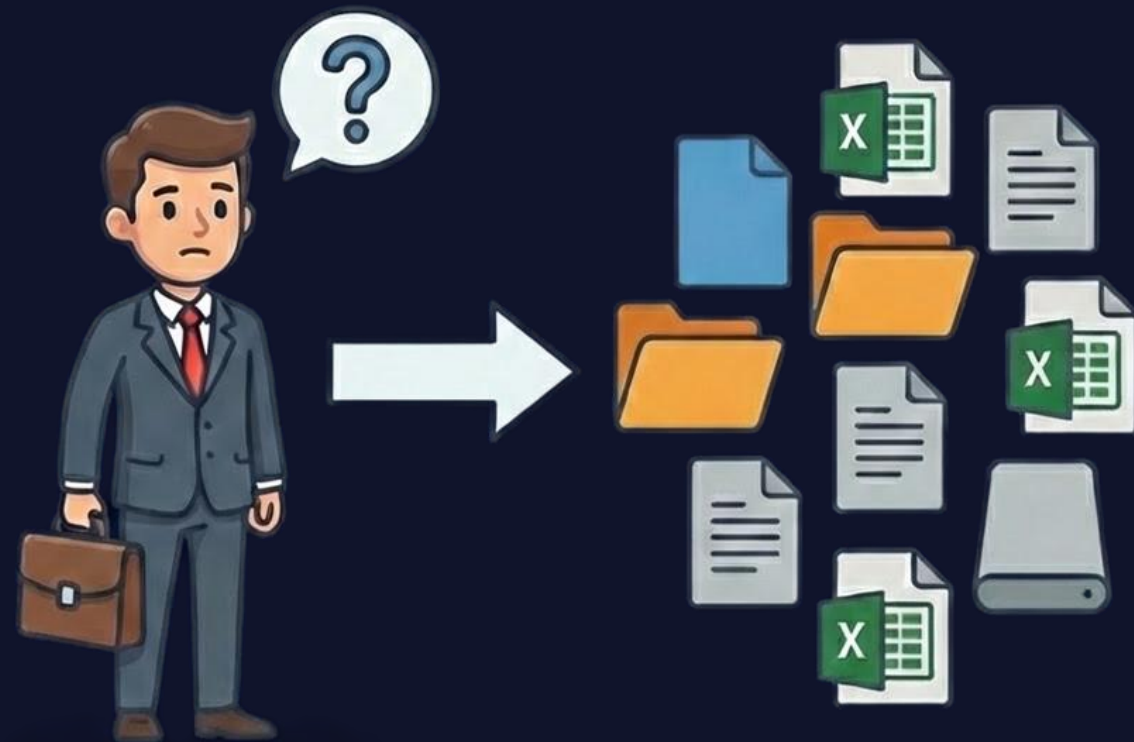
ユースケース | 営業職 - ターゲットリスト作成

ASIS

TOBE

営業担当が社内に散在している顧客データを
手動で確認し、ターゲットリストを抽出している。

自然言語の指示により、**Gemini Enterprise**が
社内データを横断的に参照し、目的に沿った
ターゲットリストを自動で抽出する。



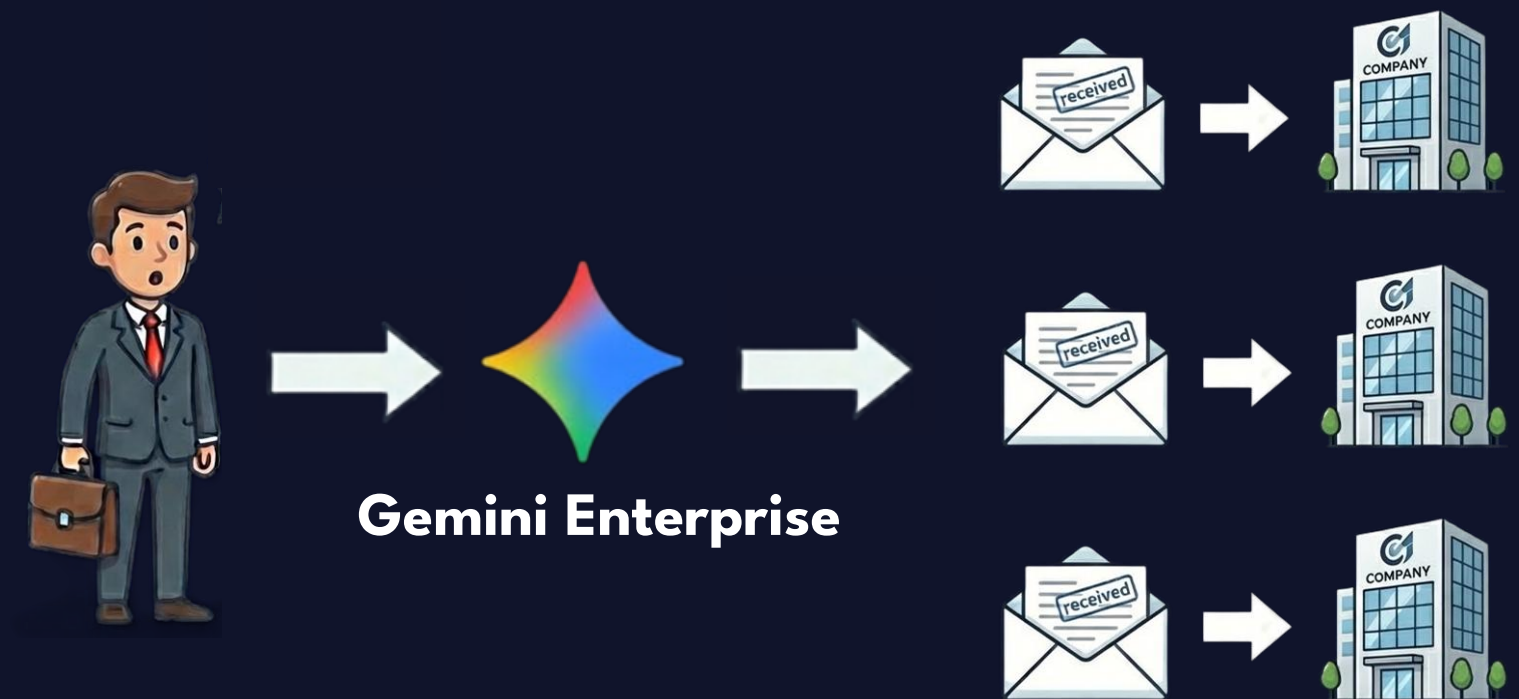
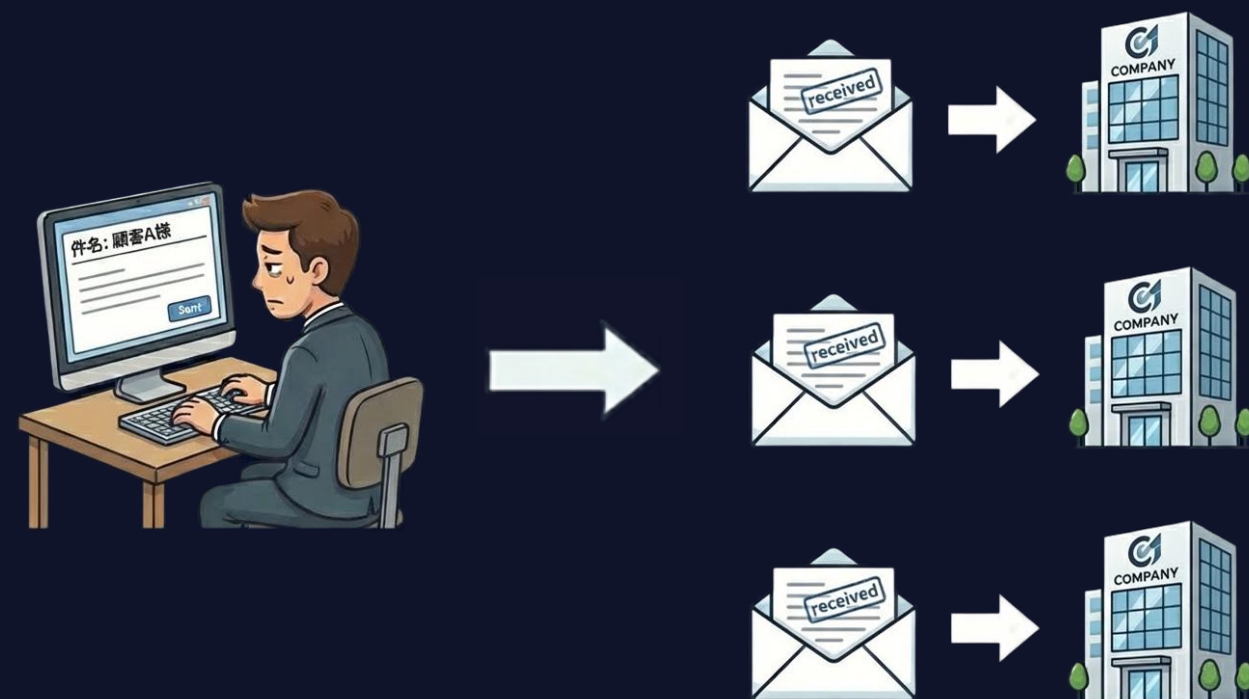
ユースケース | 営業職 - アポ獲得メール作成

ASIS

TOBE

顧客情報を手作業で調査し、
1件ずつメールを作成している。

Gemini Enterpriseが顧客情報を調査し、
顧客ごとに最適化されたメールを自動で
生成・送信する。



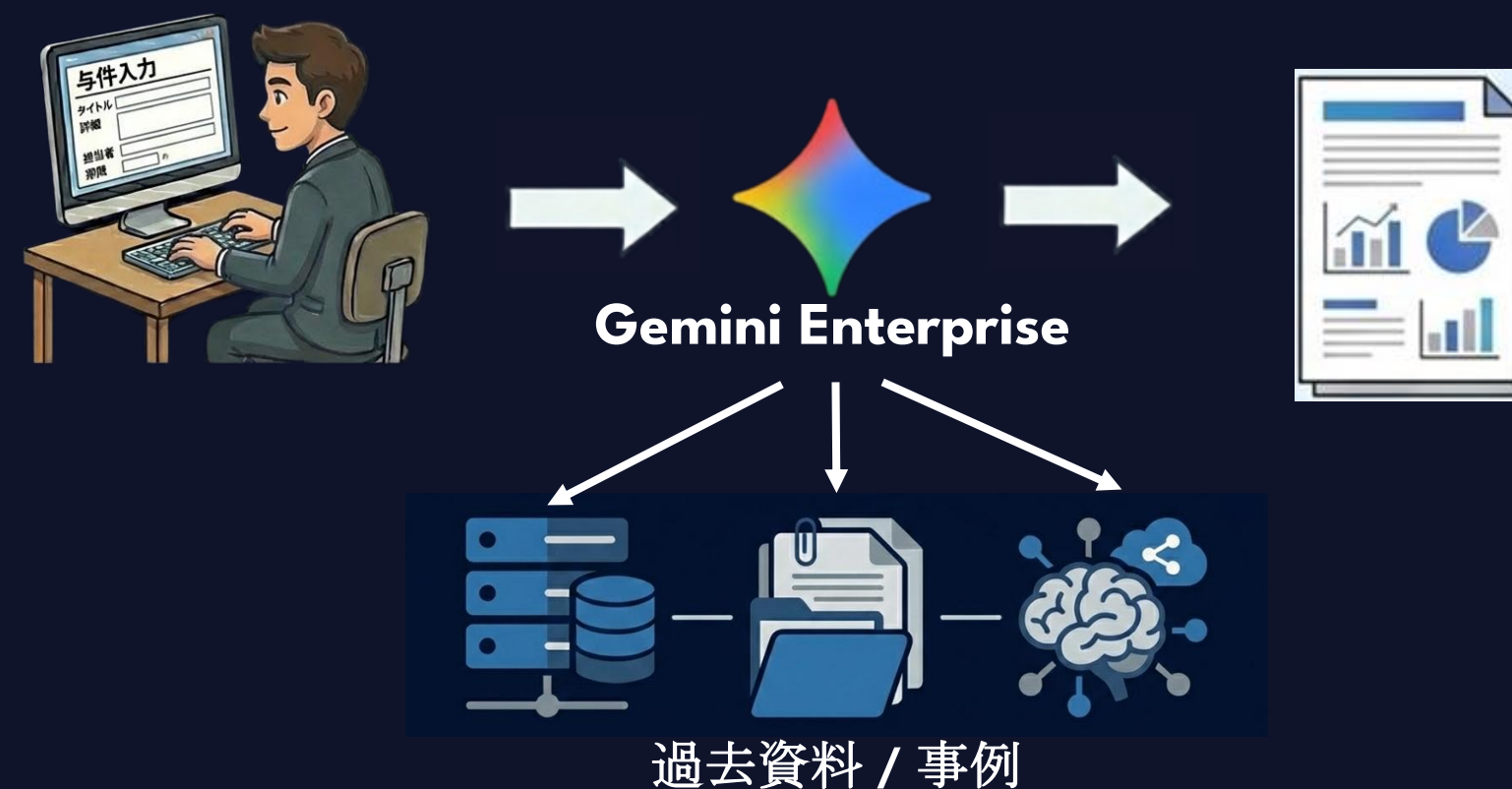
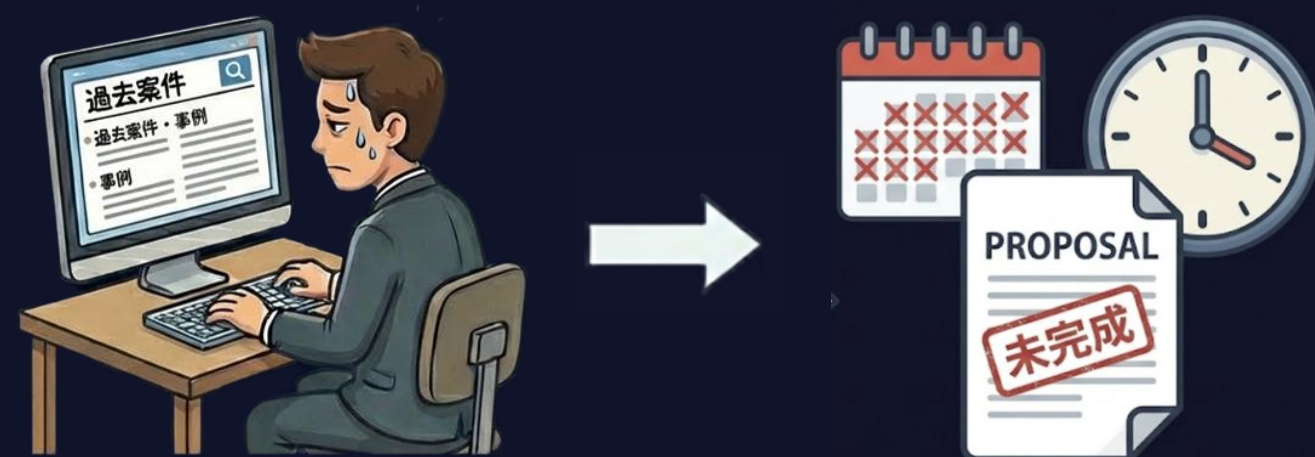
ユースケース | 営業職 - 提案資料作成

ASIS

TOBE

過去案件や事例探しに時間を費やし、提案資料作成が遅れ、提案までのリードタイムが伸びている

与件を入力するだけで、**Gemini Enterprise**が類似の過去資料を参照し、提案資料を作成



ユースケース | マーケティング - 与件整理

ASIS

営業担当のヒアリングの質にバラつきがあり、
 広告出稿に関する情報が網羅的に整理されていない

TOBE

議事録やヒアリングメモを入力するだけで、
 情報整理がされ、不足情報を明確にし、
 広告出稿に関わるリスクを判定



ユースケース | マーケティング - コピー作成

ASIS

TOBE

広告担当者の経験や勘に依存してコピーを作成しており、過去の配信実績や成果データが十分に活用されていない

Gemini Enterpriseが過去の運用実績や成功パターンを分析し、ターゲットのインサイトに基づいたコピーを自動生成



ユースケース | マーケティング - クリエイティブ作成

ASIS

TOBE

クリエイティブ制作が専門スキルを持つ特定担当者に依存しており、制作速度とアウトプット量に制約がある。

Gemini Enterpriseによりクリエイティブを自動生成し、属人化を解消。短時間・低コストで複数案の制作と検証を実現。



ユースケース | ソリューション連携 - Shopify

ASIS

TOBE

Shopify搭載AIは標準機能・データのみ参照可能で、
Shopifyアプリを含めたAI活用が不可能

Gemini EnterpriseのAIエージェントがサードパーティ製
Shopifyアプリを含むデータを横断的に参照し、
Shopify全体でのAI活用を実現



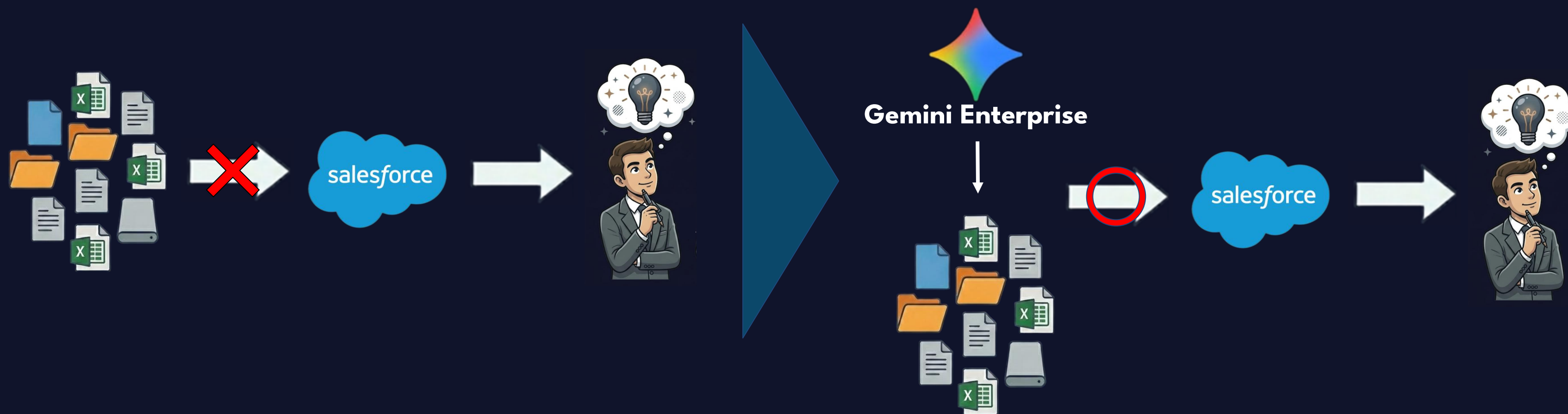
ユースケース | ソリューション連携 - Salesforce

ASIS

TOBE

議事録やメモが各所に分散し、**Salesforce**への入力が形骸化。営業データが蓄積されず、属人的な営業判断に依存している

Gemini Enterpriseが議事録・提案資料を解析し、**Salesforce**を自動更新。データに基づく営業判断と組織的なナレッジ活用を実現



費用と 導入ステップ



費用

※当社経由でのご契約でディスカウント可能です

	Gemini Enterprise Standard	Gemini Enterprise Plus
料金目安	1ライセンス：約4,500円/月（※1） ※1 年間契約、150円/ドル前提	1ライセンス：約7,500円/月（※1） ※1 年間契約、150円/ドル前提
	50ライセンス～：約225,000円/月～（※2） ※2 最低契約ライセンス数50、年間契約、150円/ドル前提	50ライセンス～：約450,000円/月～（※2） ※2 最低契約ライセンス数50、年間契約、150円/ドル前提
ストレージ	30GiB/ユーザー	75GiB/ユーザー
利用機能	動画生成、画像生成、NotebookLM、DeepResearchなど	動画生成、画像生成、NotebookLM、DeepResearchなど
利用条件	最低ライセンス数：50ユーザ～ 年間契約の場合：30\$/ユーザ 月契約の場合：35\$/ユーザ	最低ライセンス数：50ユーザ～ 年間契約の場合：50\$/ユーザ 月契約の場合：60\$/ユーザ

費用についてお問い合わせ

※お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先

MAIL
会社窓口

info@kiyono-co.jp



MAIL
担当直

s.saito@kiyono-co.jp (斉藤)



t.nomura@kiyono-co.jp (野村)

FORM

<https://www.kiyono-co.jp/contact-us>



TEL

080-7361-7936 (会社問合せ窓口)

導入ステップ

1 週間

2 週間

3 週間～

契約準備

環境構築

社内展開

1 申込書の締結



2 Google Cloud立ち上げ



6 ライセンス割り当て



3 Google Cloud内に Gemini Enterprise用のプロジェクトを作成



7 Gemini Enterprise利用開始



4 Gemini Enterpriseの有効化



8 Gemini Enterprise勉強会実施



5 初期設定 (セキュリティ / データ連携設定)



弊社サポート体制

導入初期のつまずきを防ぐため、弊社エンジニアが伴走支援を実施。初期設定の代行から勉強会の実施まで組織のAI活用を推進。

Step 01

Step 02

Step 03

Q&A

Q1

Google Workspaceを契約していないのですが、Gemini Enterprise単体で契約することはできますか。

A1. 契約可能です。Gemini EnterpriseはGoogle Cloud上のプラットフォームとしても提供されており、Workspace環境がなくても単体で導入できます。ただし、Workspaceと併用することで、GmailやGoogle Driveといった社内データとの連携がより強力になります。

Q2

全社員分のGeminiライセンスを契約する必要はありますか。

A2. 必要ありません。利用したい部門や特定のプロジェクトメンバーなど、必要なユーザー数分のみライセンスを契約することが可能であり、リスクを抑えたスモールスタートができます。

Q3

契約期間や支払い方法、途中の解約について教えてください。

A3. 契約期間は「月間契約」または「年間契約」から選択可能です。年間契約の場合は1ヶ月あたりの料金が割安になります。月間契約を選択すれば、プロジェクトの状況に合わせて途中でライセンス数を増減させたり、解約したりすることが柔軟に行えます。

Q&A

Q4

セキュリティが心配です。入力した機密情報がAIの学習に使われることは本当にはないですか。

A4. 使用されることは一切ございません。**Gemini Enterprise**はエンタープライズ向けの厳格なデータ保護ポリシーが適用されており、ユーザーが入力したプロンプトや連携した社内データが、**Google**の基本AIモデルの学習に利用されることは設計上あり得ません。

Q5

無料の**Gemini**や、下位プランの「**Gemini Business**」との違いは何ですか。

A5. 大きく「独自エージェント構築・外部連携の可否」と「セキュリティ・管理機能の強さ」が異なります。無料版は入力データがAIの学習に使用される可能性があるが、法人版は完全に保護されます。また「**Gemini Business**」は主に個人が文書作成等を効率化するためのアシスタントであるのに対し、「**Gemini Enterprise**」は**Salesforce**等の外部システムと連携し、全社の業務プロセス自体を自動化する「自社専用のAIエージェント」をノーコードで構築できる点に最大の優位性があります。



EOF

Appendix



AI研修

AIの活用は、約6割の収益増加や約30%の業務効率化を実現すると報告されており、先行企業と導入が遅れている企業との「AI格差」は拡大の一途を辿る。今後、持続的なビジネス成長を実現するためには、単なる導入に留まらず、AI活用体制の構築が不可欠である。

生成AI導入企業の約6割が収益増加

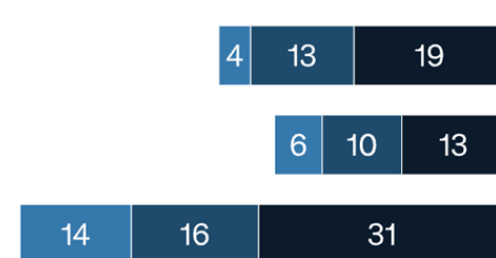
McKinseyの調査によると、AIを導入した企業の多くがすでに収益向上を報告している。特にAI活用に長けた先行企業群は、その他の企業と比較して、10%以上の収益増加を報告する可能性が高くなっている。これらの結果から、AI活用企業とそうでない企業の企業間格差が今後も拡大していくことが推察される。

特に「マーケティング・営業 / 製品・サービス開発 / サプライチェーン管理」分野において、収益増加が報告されている。

各部門の収益増加率：

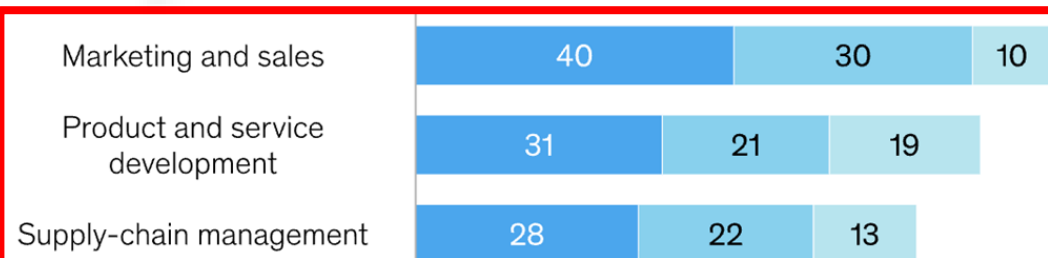
Average cost decrease

■ Decrease by ≥20% ■ Decrease by 10-19% ■ Decrease by <10%



Average revenue increase

■ Increase by ≤5% ■ Increase by 6-10% ■ Increase by >10%



主要5部門で平均30%前後の業務時間を削減

IBMの調査によると、AIを導入した特定の業務部門において、平均して業務時間の25%~31%が削減されている。特に大企業においては、その傾向が顕著であり、企業の72%が成果を実感している。このように、自動化に留まらず、業務時間の約3割を削減することで、業務時間の有効活用を推進している。

各部門の業務効率化率：

部門	削減率	効率化内容
ソフトウェア開発/IT	31%削減	コード生成の自動化、テスト工程の迅速化
カスタマーサクセス	30%削減	AIによる回答支援、定型的な問い合わせの自動完結
マーケティング/営業	26%削減	コンテンツ案の自動生成、データ分析時間の短縮

参考)

[Global AI Survey: AI proves its worth, but few scale impact](#)

[The state of AI in 2025: Agents, innovation, and transformation](#)

[The Race for ROI](#)

初心者～専門的な職種まで実践的な講義を通じて、体系的に身に付けることが可能なAI研修を提供している。AIの基礎～応用を学び、研修後は「個人がAIの使い方 / 活用イメージ」を持って、業務に取り組めるようにすることを目的としている。

研修内容

スタンダードプラン

- 1 基礎講座 3回
- 2 職業別応用講座 3回
- 3 受講者Q&A対応
- 4 プロンプト提供
- 5 講義録画の共有
- 6 AIエージェント提供

アドバンスドプラン (営業 / マーケティング)

- 1 基礎講座 3回
- 2 職業別応用講座 3回
- 3 受講者Q&A対応
- 4 プロンプト提供
- 5 講義録画の共有
- 6 AIエージェント提供

AI研修



Gemini

ChatGPT

Genspark

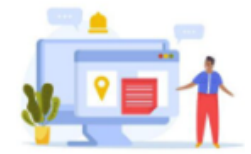
NotebookLM

Dify

Claude

Canva

SORA



貴社ご要望に合わせて、3つのプランを提供。

スタンダードプラン

¥1,000,000 / ~20人

- 1 事前ヒアリング
研修内容調整
- 2 基礎講座 3回
- 3 各職業別の応用講座 3回
- 4 応用講座(カスタマイズ)
3回
- 5 受講者Q&A対応
- 6 プロンプト提供
- 7 講義録画の共有
- 8 AIエージェントの提供

アドバンスドプラン (営業 / マーケティング)

¥2,000,000 / ~20人

- 1 事前ヒアリング
研修内容調整
- 2 基礎講座 3回
- 3 各職業別の応用講座 3回
- 4 応用講座(カスタマイズ)
3回
- 5 受講者Q&A対応
- 6 プロンプト提供
- 7 講義録画の共有
- 8 AIエージェントの提供

カスタマイズプラン

¥4,000,000 / ~20人

- 1 事前ヒアリング
研修内容調整
- 2 基礎講座 3回
- 3 各職業別の応用講座 3回
- 4 応用講座(カスタマイズ)
3回
- 5 受講者Q&A対応
- 6 プロンプト提供
- 7 講義録画の共有
- 8 AIエージェントの提供

スタンダード・アドバンスド・エグゼクティブの3つの形式で、AI研修をご提供。

スタンダードプラン

研修概要

実施期間：1か月
研修時間：2時間（座学+ワーク）/1講義
実施形式：オンライン
人数：～20人

研修例：基礎講座1

座学（60分）

- AIによる劇的な改善事例
- 生成AIの基本原則の理解
 - └生成AIとは、生成AIの仕組み、生成AIの特徴
- プロンプトエンジニアリングとは
 - └プロンプトとは、構造化プロンプト/基本構造、応用例
- 倫理とコンプライアンス
 - └AI活用における4つのリスク
- 主要ツールの特性理解
 - └ツール紹介

ワークショップ（50分）

- プロンプトエンジニアリングとは
 - └生成AIを使ってみよう、プロンプトを作ってみよう
- 主要ツールの特性理解
 - └議事録作成、資料作成、情報収集/整理をAIで効率化

アドバンスドプラン

研修概要

実施期間：1.5ヶ月
研修時間：2時間（座学+ワーク）/1講義
実施形式：オンライン
人数：～20人

研修例：営業コース - 応用講座1

座学（60分）

- リード創出プロセスの理解
 - └リードプロセスとは、各プロセスの作業洗い出しなど
- 効率化ポイントの特定
 - └どこをAIで効率化すべきか、業務の優先順位付け
- リード創出AIエージェントの活用
 - └リード創出AIエージェントの説明

ワークショップ（50分）

- リード創出プロセスの理解
 - └個人ワーク：リードプロセス分析
- 効率化ポイントの特定
 - └グループワーク：効率化すべき作業を考えよう
- リードプロセスを効率化プロンプト
 - └個人ワーク：実践プロンプトを使ってみよう
- リード創出AIエージェントの活用
 - └個人ワーク：リード創出AIエージェントを使ってみよう

エグゼクティブプラン

研修概要

実施期間：半日
研修時間：4.5時間（座学+ワーク）
実施形式：オフライン・オンライン
人数：～20人

研修例：経営コース

座学（70分）

- AIトレンドとビジネス変革
 - └AI進化の全体像
 - └競合企業のAI活用調査
- AIエージェントとは
 - └AIエージェントの基本構造
- AIによる事業変革
 - └AIを経営要素として捉えるなど

ワークショップ（170分）

- AIエージェントとは
 - └個人ワーク：AIエージェントを使ってみよう
 - └個人ワーク：AIエージェントを作成してみよう
- AIによる事業変革
 - └個人ワーク：3年後の自社について考えてみる
 - └グループワーク：3年後の自社とのギャップを分析
 - └グループワーク：事業を定義するなど

伴走支援

弊社エンジニアが貴社のAI活用推進に伴走し、AIツールの導入から実務定着までを支援。Q&A相談からAI組み込み開発まで、課題のフェーズに合わせてプランを提供。

クイックプラン

¥300,000 / 15hまで

- 1 Q&A対応
- 2 AIツール選定支援
- 3 プロンプト提供
- 4 AI導入//活用計画の設計
- 5 業務自動化設計
- 6 AIエージェント開発
- 7 AI組み込み開発

スタンダードプラン

¥1,000,000 / 60hまで

- 1 Q&A対応
- 2 AIツール選定支援
- 3 プロンプト提供
- 4 AI導入//活用計画の設計
- 5 業務自動化設計
- 6 AIエージェント開発
- 7 AI組み込み開発

アドバンスドプラン

¥2,000,000 / 120hまで

- 1 Q&A対応
- 2 AIツール選定支援
- 3 プロンプト提供
- 4 AI導入//活用計画の設計
- 5 業務自動化設計
- 6 AIエージェント開発
- 7 AI組み込み開発

お問い合わせ先

MAIL
会社窓口

info@kiyono-co.jp



MAIL
担当直

s.saito@kiyono-co.jp (斉藤)



t.nomura@kiyono-co.jp (野村)

FORM

<https://www.kiyono-co.jp/contact-us>



TEL

080-7361-7936 (会社問合せ窓口)